
FOSE2023 論文テンプレート

徳川 家康 源 頼朝 源 頼家

本稿はソフトウェア工学の基礎ワークショップのために、実践的 IT 教育シンポジウム rePiT の論文執筆キットおよび第 29 回ソフトウェア工学の基礎ワークショップの論文執筆キットを基に作成したものです。rePiT の論文執筆キットはそもそもソフトウェア学会の論文執筆キットを基に作成したものです。

This document has been prepared as a sample for FOSE(Foundation of Software Engineering) based on the Author Kit for rePiT and FOSE2022. The author kit for rePiT was originally based on author kit of JSSST Computer Software.

1 はじめに

FOSE2023 [1] 論文執筆の基本的な注意事項を以下に示します。

- 論文本文が和文の場合、和文・英文のいずれかでアブストラクトを書いて下さい。両方併記することもできます。英文アブストラクトを書かない場合は場合は `eabstract` 環境 (`\Eabstract`) を空にして使って下さい。
- 本文が英文の場合は、クラスファイルのオプションを `[T,E]` として下さい。また、和文タイトル・和文著者名・和文アブストラクトを併記する必要はありません。
- カラーの図を使うことは可能ですが、論文集は J-STAGE への掲載（フルカラー）だけでなく近代科学社 Digital のプリントオンデマンド書籍（白黒印刷）として印刷されることも考慮して作

成して下さい。白黒印刷時に図が認識可能か、文章中でフルカラー前提の図に関する特定の色を指す表現がないかなど注意して下さい。

- カラーの図を使用する場合は色モードを CMYK ではなく RGB で画像を作成するようにして下さい。
- 画像の解像度は 300dpi 以上で作成するようにして下さい。

その他細かな論文執筆時の注意点については論文執筆キットで配布している `sample.pdf` の 4 章を参照して下さい。

謝辞 本フォーマットの基になったスタイルファイルを作成して下さった方々に感謝します。

参考文献

- [1] 吉田則裕, 槇原絵里奈 (編): ソフトウェア工学の基礎 30, 日本ソフトウェア学会 FOSE2023 (*to appear*), 近代科学社, 2023.

Foundation of Software Engineering
Ieyasu Tokugawa, 江戸幕府, Edo Bakufu.
Yoritomo Minamoto, Yorie Minamoto, 鎌倉幕府, Kamakura Bakufu.